

令和5年度せせらぎ事業報告

《施設の概要》

- ・ 名称及び所在地
「せせらぎ」 〒029-2201 岩手県陸前高田市矢作町字諏訪18番地9
TEL 0192(55)1890 Fax 0192(55)1892
- ・ 設置の種別
指定就労継続支援B型事業所
- ・ 概要
(せせらぎ)：作業室1・2 多目的ホール兼食堂 事務室 相談室 医務室 男女更衣室
男女トイレ 身障用トイレ 洗面所
(イチゴ農園)：作業室 店舗 休憩室 男女トイレ 多目的トイレ 育苗用ハウス
栽培ハウス
定員：20名

・ 目的

＜指定就労継続支援B型事業所＞

せせらぎが行う指定就労継続支援B型事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円滑な指定就労継続支援B型の提供を確保することを目的とする。

・ 運営の方針

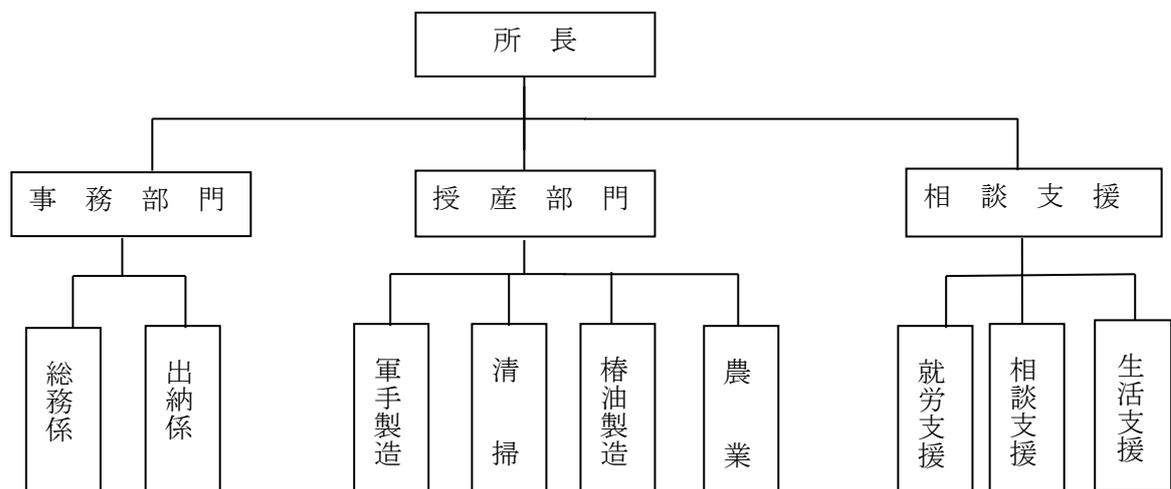
＜指定就労継続支援B型事業所＞

- 1 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。
- 2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- 3 前2項の他、関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする。

・ 沿革

令和2年4月1日 社会福祉法人大洋会 就労継続支援B型事業所「せせらぎ」として開所
令和3年2月9日 いちご観光農園「いちごパーク」開園

《組織図及び職員名簿》



<職員名簿>

	職 名	氏 名		職 名	氏 名
1	所 長	米 田 智	6	職 業 指 導 員	及 川 佳 代 子
2	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	佐 々 木 一 樹	7	職 業 指 導 員 (非 常 勤)	黄 川 田 文 恵
3	生 活 支 援 員	及 川 香	8	会 計	岡 崎 由 加 里
4	目 標 工 賃 達 成 指 導 員	浅 野 博 則			
5	職 業 指 導 員	小 島 直 子			

1・行事報告

(1) 行事

月	日	行 事 名
5	29	自治会総会・食事会
12	17	大忘年会 (せせらぎ)
1	10	初詣(天照御祖神社)

(2) 諸会議・施設内研修

毎月実施：職員会議・支援会議・工賃会議

月	日	研修内容	講 師
12	2	法人講演会 (虐待防止)	野澤和弘氏
3	8	虐待防止研修	所長

(3) 研修受講状況

月	日	研修内容	参加	開催場所
3	13	アグリフォー太田イチゴの栽培合同研修会	5	イチゴパーク

2. 実習生・研修生の受入状況

なし

3. 利用者の状況 (令和6年3月31日現在)

(1) 市町村別

区 分	陸前高田市	住田町	大船渡市	一関市	合計
男	13	0			13名
女	4	1		1	6名
合 計	17	1		1	19名

(2) 年齢別

区 分	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均年齢
男	3	1	1	3	4	1	51.9歳
女	0	0	1	3	2	0	
合 計	3名	1名	2名	6名	6名	1名	

(3) 障がい別

区 分	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	発達障がい
男	3	5	4	1
女	1	4	1	0

構成比	21%	47%	26%	5%
-----	-----	-----	-----	----

(4) 日課表

月 ～ 金 曜 日			
9:00～	朝礼・ミーティング・作業開始	14:30～14:45	休 憩
10:15～10:30	休 憩	14:45～15:30	作 業
10:30～12:00	作 業	15:30～15:45	整理・整頓・清掃
12:00～13:00	昼食 ・ 休憩	15:45	終 礼
13:00～14:30	作 業		

4. 利用者の支援状況

(1) 健康管理

・令和5年11月13日・14日・17日 実施結果一覧

総合判定	異常なし	要精密検査	経過観察	合計
人数(名)	1	11	8	20

健康診断を広田診療所にて、11月実施。検査結果については上記の通りであった。個人へ検査結果を配布するとともに、該当する項目については通院を勧める文書を添付した。

新型コロナワクチン接種について。6回目接種、5月から6月に職員7名・利用者18名実施。7回目接種、10月から1月に職員7名・利用者17名実施している。接種後の副作用については特に報告はなかった。

新型コロナウイルス感染者について。8月利用者1名県内に私用で外出し感染。2月利用者1名家庭内感染があった。いずれも、施設内での感染拡大はなく、マニュアルに沿って対応をしている。

新型コロナウイルス感染対策について。毎日の健康記録を記入し提出して頂いている。不要不急の外出はひかえ、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底し、館内の消毒、換気をこまめに行っている。又、利用者、利用者ご家族にコロナ禍における生活様式等文章を配布し、それに従って行動して頂く様促している。濃厚接触者については法人が定めたマニュアルに沿って対応し、PCR検査で陰性が確認できる迄自宅待機を促している。今後も繰り返し感染予防に対する声かけ等を行い、感染者を出さない様努めていきたい。

インフルエンザ予防接種。今年度は、広田診療所にて、11月13日・14日・17日に実施し、職員7名、利用者20名接種を行った。

今年度、インフルエンザ感染者の報告はなかった。

(2) 就労支援事業の概況

① 清掃部門

(希望ヶ丘病院)

・以前からの課題であった人員確保を今年度は1名育成したため、青松館からの協力が減っている。また希望ヶ丘病院から、清掃作業内容が変更になり利用者への指示に苦戦したものの、年度末には定着している。高齢化は続くため人員育成は継続し、利用者一人一人の障がい把握しながら作業をこなす日々を努めたい。

(ふるさと納税梱包作業)

・2年目になり職員、利用者共に作業内容は把握してきた。今年度は常連の利用者に増員して作

業に取り組むことができたので、今後は丁寧に早く仕上げることを課題としたい。

② 軍手部門

・今年度は物価高騰の影響を受け、2022年の10月、2023年の4月と特紡糸やその他の部（輪ゴムやビニール袋）運送料などが値上がりしたので4月～6月にかけて軍手の値上げを実施。10%から20%の値上げを行った。値上げの影響か注文量が減少したり、注文間隔が毎月から2か月に1度になるなどの影響があり、目標達成には至らなかった。また、軍手編み機の稼働が現在5台となり生産量低下により、注文をさばききれなかったこともあった。今後は昨年度に引き続き材料経費と見直しを行いつつ、値上げも実施するとともに納期を守るように生産の効率化を図って目標達成を目指していきたい。

③ 椿油部門

・今年度は、毎年想定以上の買取数と支出となるため椿種買取を行なわなかった。搾油依頼が約2t（令和6年3月31日現在）となり、前年度を上回った。年間収入は約130万円とこちらも前年度を上回る売上となった（令和6年3月31日現在）。販売先としては、前年度と大きく変わることはなく、マイヤ等の地元スーパーからの注文は例年通りに受注でき、1年を通じて供給することができた。また、陸前高田市内の学校給食センターからの注文も安定して受けることが出来た。前年度同様に新型コロナウイルスが流行していたこともあり、催し物も皆無で販売機会が減ってきている。令和6年度は、催し物での販売機会が増加することが考えられるため、計画的な製造を心がけていかななくてはならない。今後も伝統文化が継承されていくよう地域密着型の授産となるよう活動していきたい。

④ 農産物部門

・いちご観光農園4年目となった。例年よりも酷暑が続き、育苗棟で栽培していた苗の生育が良くなく、栽培棟に植える苗が足りなくなる事態に見舞われた。実取り苗を購入することによって、栽培棟に植える苗の数を確保することが出来たが、実取り苗の購入によって痛い支出となった。栽培棟に植えてからも酷暑の影響を受け、いちご狩りの開催時期が例年よりも遅れた。1月は開催時期が遅れたこともあり、売り上げは前年度を下回ったが、2月、3月においては前年度を上回る勢いとなった。また、原油価格高騰や様々な原材料の高騰が続いており、いちご狩り料金を今年度は小学生・幼児（3歳以上）を共に100円上げた。前年度同様に、予約数を調整しながら、臨時休業も設けず開園することが出来た。いちご狩り客数の伸びもあり、法人内外でのパック販売は前年度よりも縮小傾向だった。今後も酷暑は予想されるため、天候に順応した栽培技術を身につけていく必要がある。また、トウモロコシに関しても、酷暑の影響を受け、思ったような成果が見られなかった。トウモロコシの収入は前年度を下回った。また、シャインマスカットは思ったような商品が出来ず、売り上げが伸び悩んでいる。生育技術を学ぶために3月スタートの研修へと参加した。令和6年度は研修が数回行なわれるため、生産力の向上を目指していく。どの作物においても、作業内容を工夫し多くの作業に利用者が関わられるようにすることが求められる。今後は、研修での栽培技術向上を目指していくことと、催し物での販売再開等での一般客への販売機会を増やし、収入の増加を目指していく。

授産事業収入（生産）額表

年度	総収入額	事業別内訳				
		軍手部門	清掃部門	農業部門	椿油部門	受託部門
令和2年度	15,841,227	3,761,120	5,545,814	5,344,047	1,194,065	
令和3年度	25,718,053	3,478,270	5,339,979	15,946,094	951,710	

令和4年度	24,622,786	3,513,130	2,975,000	14,868,710	1,480,196	1,785,750
構成比	100%	14%	12%	60%	6%	7%

☆ 令和5年度工賃支給総額 8,950,700円 利用者平均工賃 43,619円

5. 防災状況

(1) 自衛消防隊

	係	任 務	係 長	係 員
隊長 所長	通報連絡員	消防署、関係機関への通報連絡	米田 智	小島 直子
	消 火 係	初期消火活動	浅野 博則	佐々木一樹
	避難誘導係	利用者の避難誘導	及川 香	小島 直子
	警 備 係	逃げ遅れ者の確認、救助、延焼防止	佐々木一樹	米田 智
	救 護 係	負傷者の救護	黄川田文恵	及川佳代子

(2) 訓練実施状況

実施日時	令和6年3月12日(火) 午後12時45分	訓練種別	避難訓練
訓練想定	矢作川氾濫警戒による避難。	避難場所	駐車場
洪水からの避難訓練。高齢者等避難が発令されたことを想定。12時45分より避難開始。車両へ利用者を誘導し、避難持ち出し品を積んだ後、逃げ遅れ者の確認と点呼で全員の車両乗車を確認、避難先である矢作小学校への移動をもって訓練を終了した。			

(3) 各室火気戸締り等責任者

令和4年4月～令和5年3月

箇 所	責 任 者	箇 所	責 任 者
第1作業室	浅野 博 則	玄 関	佐々木一樹
第2作業室	浅野 博 則	男子更衣室	浅野 博 則
椿油工房作業場	佐々木一樹	女子更衣室	黄川田 文恵
事 務 室	及川 香	ト イ レ	及川 佳代子
医 務 室	黄川田 文恵	外倉庫・施設周辺	小 島 直 子
多目的ホール	小 島 直 子		

6. 苦情受付状況 0件

7. まとめ

利用者については、定員が20名に対し4月は21名でスタートし、12月に1名、2月に1名と合わせて2名の退所がありました、3月末時点で19名が利用しております。利用率については83%と前年度より向上していますが、施設の経営状況は依然厳しく、新規利用者の確保と利用率の向上が図れるよう引き続き努力していききたいと思います。

就労支援事業については、軍手部門の原材料費の値上げの影響で収益率が大幅に悪化しましたが主力のイチゴ農園でのいちご狩りが、開園時期が前年度より1週遅れたにも関わらず、来園者数が伸びたこともあり、平均工賃については、43,619円を支給することができました。

来年度についても、各部門の収益率の向上に努め、イチゴ栽培技術の確立のための研修や実習を実施し、平均工賃の向上を目指していききたいと思います。